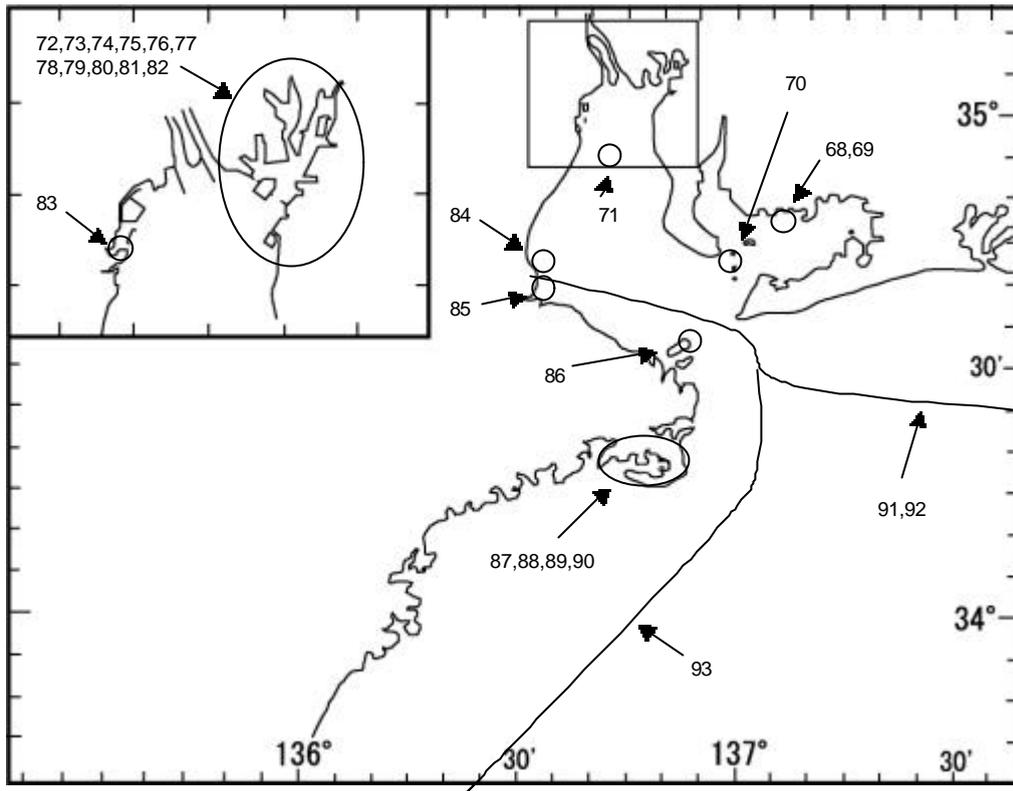


四管区水路通報第 4 号

平成 14 年 1 月 30 日

第四管区海上保安本部

第 6 8 項	本州南岸	渥美湾、東幡豆港付近	・ 護岸改修工事
第 6 9 項	本州南岸	渥美湾、西幡豆港	・ 導流堤築造工事
第 7 0 項	本州南岸	師崎水道、篠島	・ 防波堤築造工事等
第 7 1 項	伊勢湾北部		・ 警備訓練
第 7 2 項	名古屋港	東航路	・ 水路測量
第 7 3 項	名古屋港	第 3 区	・ 護岸鋼矢板補修工事
第 7 4 項	名古屋港	第 3 区	・ 電気防蝕工事
第 7 5 項	名古屋港	第 3 区	・ 潜水作業
第 7 6 項	名古屋港	第 4 区	・ オイルフェンス展張
第 7 7 項	名古屋港	第 4 区	・ ボーリング作業
第 7 8 項	名古屋港	第 4 区	・ 掘下げ作業
第 7 9 項	名古屋港	第 4 区	・ 航泊禁止
第 8 0 項	名古屋港	第 4 区	・ 航泊禁止
第 8 1 項	名古屋港	第 5 区	・ 海底地形調査
第 8 2 項	名古屋港	第 5 区	・ 起重機船作業
第 8 3 項	本州南岸	四日市港、第 1 区	・ 水門改良工事等
第 8 4 項	伊勢湾	津港	・ 起重機船作業等
第 8 5 項	伊勢湾	松阪港付近	・ 潜水作業
第 8 6 項	本州南岸	菅島水道、菅島漁港	・ 埋立作業
第 8 7 項	本州南岸	大王埼至神前湾	・ 灯浮標全交換作業
第 8 8 項	本州南岸	英虞湾	・ 灯浮標現状変更
第 8 9 項	本州南岸	英虞湾、浜島港	・ 消波ブロック据付工事
第 9 0 項	本州南岸	英虞湾及付近	・ 小型船舶操縦訓練
第 9 1 項	本州南岸	横浜港 至 津港	・ 起重機船えい航作業
第 9 2 項	伊勢湾	津港 至 横浜港	・ 台船えい航作業
第 9 3 項	伊勢湾	津港 至 神戸港	・ 起重機船えい航作業



14年68項 本州南岸 - 渥美湾、東幡豆港付近 護岸改修工事

前島で護岸の改修工事が実施される。

期間 平成14年3月20日までの日出～日没

区域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-46-39N 137-08-54E

34-46-51N 137-08-43E

(2) 34-46-36N 137-08-56E

34-46-48N 137-08-45E

(3) 34-46-35N 137-08-52E

34-46-47N 137-08-41E

(4) 34-46-38N 137-08-50E

34-46-50N 137-08-39E

標識 作業区域には黄灯付浮標及び赤旗付竹竿を設置する。

備考 警戒船を配備する。

海図 W1435

出所 蒲郡海上保安署

14年69項 本州南岸 - 渥美湾、西幡豆港 導流堤築造工事

下記区域で導流堤築造工事が実施される。

期間 平成14年2月1日～3月20日までの日出～日没

区域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-47-15N 137-06-58E

34-47-27N 137-06-47E

(2) 34-47-10N 137-06-57E

34-47-22N 137-06-46E

(3) 34-47-11N 137-06-51E

34-47-23N 137-06-40E

(4) 34-47-14N 137-06-52E

34-47-26N 137-06-41E

標識 作業区域には黄灯付浮標及び赤旗付竹竿を設置する。

備考 (1)警戒船を配備する。
(2)潜水作業を伴う。
海図 W1052 - W1053
出所 蒲郡海上保安署

14年70項 本州南岸 - 師崎水道、篠島 防波堤築造工事等

下記区域で防波堤築造工事及び潜堤築造工事が実施される。

期間 平成14年2月20日～3月20日までの日出～日没

区域 1 (防波堤築造工事)

下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-40-24N	137-00-06E	34-40-36N	136-59-55E
(2)	34-40-14N	137-00-05E	34-40-26N	136-59-54E
(3)	34-40-14N	137-00-13E	34-40-26N	137-00-02E
(4)	34-40-17N	137-00-13E	34-40-29N	137-00-02E

2 (潜堤築造工事)

下記4地点により囲まれる区域

(5)	34-40-21N	137-00-32E	34-40-33N	137-00-21E
(6)	34-40-02N	137-00-31E	34-40-14N	137-00-20E
(7)	34-40-01N	137-00-51E	34-40-13N	137-00-40E
(8)	34-40-20N	137-00-52E	34-40-32N	137-00-41E

標識 作業区域には黄灯付浮標及び赤旗付竹竿を設置する。

備考 (1)警戒船を配備する。
(2)潜水作業を伴う。

海図 W1054

出所 衣浦海上保安署

14年71項 伊勢湾北部 警備訓練

巡視艇及び航空機による警備訓練が実施される。

期間 平成14年2月4日の1400～1700

区域 下記位置を中心とする半径1海里の円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-53.3N	136-44.6E	34-53.5N	136-44.4E
-----	----------	-----------	----------	-----------

備考 巡視艇3隻、航空機1機が参加する。

海図 W95

出所 四本部警備救難部

14年72項 名古屋港 - 東航路 水路測量

下記区域で水路測量が実施される。

期間 平成14年2月25日,26日(予備日2月27日～3月4日)の日出～日没

区域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-58-26.7N	136-48-40.8E	34-58-38.4N	136-48-30.2E
(2)	34-57-57.5N	136-48-17.3E	34-58-09.2N	136-48-06.7E
(3)	34-58-01.5N	136-48-09.9E	34-58-13.2N	136-47-59.3E

(4) 34-58-30.7N 136-48-33.4E 34-58-42.4N 136-48-22.8E
海 図 W 1 0 5 5 B
出 所 名古屋港長

1 4 年 7 3 項 名古屋港 - 第 3 区 護岸鋼矢板補修工事
東海元浜ふ頭（南2区）下記 2 区域で護岸鋼矢板補修工事が実施される。
期 間 平成14年2月12日～3月17日（予備日3月18日～20日）までの0800～1700
区 域 1 下記地点及び付近
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 35-02-18N 136-52-19E 35-02-30N 136-52-08E
2 下記地点及び付近
(2) 35-01-35N 136-51-49E 35-01-47N 136-51-38E
備 考 潜水作業を伴う。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長

1 4 年 7 4 項 名古屋港 - 第 3 区 電気防蝕工事
東海元浜ふ頭（南2区）で電気防蝕工事が実施される。
期 間 平成14年2月12日～3月17日（予備日3月18日～20日）までの0800～1700
区 域 下記地点付近
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 35-02-07N 136-52-10E 35-02-19N 136-51-59E
備 考 潜水作業を伴う。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長

1 4 年 7 5 項 名古屋港 - 第 3 区 潜水作業
高潮防波堤知多堤で潜水作業による生物調査が実施される。
期 間 平成14年2月17日（予備日2月18日）の日出～日没
位 置 下記地点付近
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-59-12N 136-50-05E 34-59-24N 136-49-54E
海 図 W 1 0 5 5 A - W 1 0 5 5 B
出 所 名古屋港長

1 4 年 7 6 項 名古屋港 - 第 4 区 オイルフェンス展張
下記区域でオイルフェンスが展張される。
期 間 平成14年2月1日～4月30日
区 域 下記位置を中心とする半径150mの円内
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 35-01.4N 136-48.6E 35-01.6N 136-48.4E
標 識 展張付近に2個の灯付浮標を設置する。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長

14年77項 名古屋港 - 第4区 ボーリング作業

日光川大橋付近でボーリング作業が実施される。

期 間 平成14年2月1日～3月20日までの日出～日没

位 置 下記6地点

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	35-04-20.8N	136-49-39.8E	35-04-32.5N	136-49-29.1E
(2)	35-04-21.0N	136-49-36.5E	35-04-32.7N	136-49-25.8E
(3)	35-04-27.9N	136-49-41.3E	35-04-39.6N	136-49-30.6E
(4)	35-04-26.7N	136-49-39.5E	35-04-38.4N	136-49-28.8E
(5)	35-04-24.8N	136-49-38.0E	35-04-36.5N	136-49-27.3E
(6)	35-04-23.8N	136-49-35.9E	35-04-35.5N	136-49-25.2E

標 識 ボーリングやぐらには赤旗及び白色灯を設置する。

備 考 潜水作業を伴う。

海 図 W1055A

出 所 名古屋港長

14年78項 名古屋港 - 第4区 掘下げ作業

下記区域で掘下げ作業が実施される。

期 間 平成14年2月4日～3月15日までの日出～日没

区 域 1 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	35-03-23N	136-50-46E	35-03-35N	136-50-35E
(2)	35-03-29N	136-50-31E	35-03-41N	136-50-20E
(3)	35-03-34N	136-50-36E	35-03-46N	136-50-25E
(4)	35-03-28N	136-50-49E	35-03-40N	136-50-38E

2 下記4地点により囲まれる区域

(5)	35-03-24N	136-50-39E	35-03-36N	136-50-28E
(6)	35-03-23N	136-50-42E	35-03-35N	136-50-31E
(7)	35-03-19N	136-50-41E	35-03-31N	136-50-30E
(8)	35-03-20N	136-50-38E	35-03-32N	136-50-27E

備 考 警戒船を配備する。

海 図 W1055A

出 所 名古屋港長

14年79項 名古屋港 - 第4区 航泊禁止

揚泥船による浚渫土の揚泥作業実施に伴い、航泊禁止区域が設定される。

期 間 平成14年2月13日～3月15日

区 域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	35-00-50.2N	136-49-21.9E	35-01-01.9N	136-49-11.2E
(2)	35-00-57.5N	136-49-19.9E	35-01-09.2N	136-49-09.2E
(3)	35-00-56.0N	136-49-12.2E	35-01-07.7N	136-49-01.5E
(4)	35-00-48.7N	136-49-14.2E	35-01-00.4N	136-49-03.5E

標 識 上記区域に簡易灯浮標を設置する。

備 考 上記区域内に揚泥船が錨泊する。

海 図 W 1 0 5 5 A - W 1 0 5 5 B
出 所 名古屋港長公示第 1 4 - 4 号

1 4 年 8 0 項 名古屋港 - 第 4 区 航泊禁止
揚泥船による浚渫土の揚泥作業実施に伴い、航泊禁止区域が設定される。

期 間 平成14年2月13日～3月15日

区 域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 35-00-18.1N 136-49-28.1E 35-00-29.8N 136-49-17.4E

(2) 35-00-18.1N 136-49-39.9E 35-00-29.8N 136-49-29.2E

(3) 35-00-27.8N 136-49-39.9E 35-00-39.5N 136-49-29.2E

(4) 35-00-27.8N 136-49-28.1E 35-00-39.5N 136-49-17.4E

標 識 上記区域に簡易灯浮標を設置する。

備 考 上記区域内に揚泥船が錨泊する。

海 図 W 1 0 5 5 A - W 1 0 5 5 B

出 所 名古屋港長公示第 1 4 - 5 号

1 4 年 8 1 項 名古屋港 - 第 5 区 海底地形調査

南浜ふ頭（南4区）の取水口前面海域で水路測量及び水中ビデオ撮影が実施される。

期 間 平成14年2月5日（予備日2月6日、7日）の0800～1700

位 置 下記地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-58-31.5N 136-50-04.6E 34-58-43.2N 136-49-53.9E

備 考 潜水作業を伴う。

海 図 W 1 0 5 5 B

出 所 名古屋港長

1 4 年 8 2 項 名古屋港 - 第 5 区 起重機船作業

下記地点付近で起重機船による石油プラントの水切り作業が実施される。

期 間 平成14年2月10日（予備日2月11日）の日出～日没

位 置 下記地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-58-36.4N 136-50-10.9E 34-58-48.1N 136-50-00.2E

備 考 警戒船を配備する。

海 図 W 1 0 5 5 B

出 所 名古屋港長

1 4 年 8 3 項 本州南岸 - 四日市港、第 1 区 水門改良工事等

下記区域で水門の改良工事及び据付作業が実施される。

期 間 （改良工事）平成14年2月1日～6月17日までの日出～日没

（据付作業）平成14年2月19日（予備日2月20日、21日）

区 域 1 （改良工事）下記3地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-57-28.7N 136-38-35.7E 34-57-40.4N 136-38-25.1E

(2) 34-57-25.3N 136-38-31.8E 34-57-37.0N 136-38-21.2E

- (3) 34-57-27.5N 136-38-28.9E 34-57-39.2N 136-38-18.3E
 2 (据付作業) 下記3地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域
 (4) 34-57-27.6N 136-38-36.9E 34-57-39.3N 136-38-26.3E
 (5) 34-57-22.8N 136-38-32.8E 34-57-34.5N 136-38-22.2E
 (6) 34-57-24.5N 136-38-30.5E 34-57-36.2N 136-38-19.9E

備考 (1)潜水作業を伴う。
 (2)警戒船を配備する。

海図 W94
 出所 四日市港長

14年84項 伊勢湾 - 津港 起重機船作業等

下記区域で起重機船の準備・片付け作業、重量物積込み作業が実施され、下図に示す経路で海上運搬作業が実施される。

期間 平成14年2月17日～20日(予備日2月21日～26日)までの日出～日没

- 区域 1 (準備・片付け作業)
 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]

- (1) 34-40-09.8N 136-33-13.2E 34-40-21.6N 136-33-02.7E
 (2) 34-40-13.3N 136-33-06.6E 34-40-25.1N 136-32-56.1E
 (3) 34-40-17.4N 136-33-09.8E 34-40-29.2N 136-32-59.3E
 (4) 34-40-13.9N 136-33-16.4E 34-40-25.7N 136-33-05.9E

- 2 (重量物積込み作業)
 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

- (5) 34-40-14.8N 136-32-46.3E 34-40-26.6N 136-32-35.8E
 (6) 34-40-21.5N 136-32-51.8E 34-40-33.3N 136-32-41.3E
 (7) 34-40-17.1N 136-33-00.2E 34-40-28.9N 136-32-49.7E
 (8) 34-40-10.6N 136-32-55.1E 34-40-22.4N 136-32-44.6E

備考 警戒船を配備する。

海図 W88
 出所 四日市海上保安部



光 度 (変更前) 70カンデラ(D-2)
(変更後) 60カンデラ(LED)
光達距離 (変更前) 6.0海里
(変更後) 5.5海里
海 図 W78
出 所 四本部灯台部

14年89項 本州南岸 - 英虞湾、浜島港 消波ブロック据付工事

下記区域で消波ブロック据付工事が実施されている。

期 間 平成14年3月25日までの0800~1700

区 域 1 下記位置を中心とする半径100mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-17-23.4N 136-45-15.5E 34-17-35.4N 136-45-05.0E

2 下記位置を中心とする半径200mの円内

(2) 34-17-22.3N 136-45-23.2E 34-17-34.3N 136-45-12.7E

標 識 作業区域に赤旗付竹竿及びオレンジブイを設置する。

備 考 (1)潜水作業を伴う。

(2)警戒船を配備する。

海 図 W1058

出 所 鳥羽海上保安部

14年90項 本州南岸 - 英虞湾及付近 小型船舶操縦訓練

下記区域で小型船舶操縦訓練が実施される。

期 間 平成14年2月7日~18日までの0900~1600

備 考 訓練区域にオレンジブイ3基を設置する。

海 図 W78

出 所 鳥羽海上保安部



14年91項 本州南岸 - 横浜港 至 津港 起重機船えい航作業

下記経路を經由して、起重機船のえい航作業(えい航長最大293m、速力約5ノット)が実施される。

(往路)

期 間 平成14年2月14日~17日

経路及び日時 横浜港 2月14日 1500出発予定
 浦賀水道 2月14日 1650
 石廊崎 2月15日 0500
 御前崎 2月15日 1230
 伊良湖水道 2月16日 0030
 津港 2月17日 0600到着予定
 (復路)

期 間 平成14年2月20日～22日

経路及び日時 津港 2月20日 1700出発予定
 伊良湖水道 2月20日 2200
 御前崎 2月21日 1030
 石廊崎 2月21日 1800
 浦賀水道 2月22日 0530
 横浜港 2月22日 0800到着予定

海 図 W 6 1 B

出 所 四日市海上保安部

14年92項 伊勢湾 津港 至 横浜港 台船えい航作業

下記経路を經由して、台船のえい航作業(えい航長最大500m、速力約5ノット)が実施される。

期 間 平成14年2月9日～11日

経路及び日時 津港 2月 9日 1905出発予定
 伊良湖水道 2月10日 2330
 御前崎沖 2月10日 1155
 石廊崎沖 2月10日 1825
 三崎沖 2月11日 0625
 浦賀水道 2月11日 0900
 横浜港 2月11日 1100到着予定

海 図 W 6 1 B - W 7 0 - W 1 0 5 1 - W 8 8

出 所 四日市海上保安部

14年93項 伊勢湾 - 津港 至 神戸港 起重機船えい航作業

下記経路を經由して、起重機船のえい航作業(えい航長最大800m、速力約5ノット)が実施される。

期 間 平成14年1月31日～2月2日

経路及び日時 津港 1月31日 1200出発予定
 伊良湖水道 1月31日 1625
 大王崎沖 1月31日 2040
 潮岬沖 2月 1日 1230
 友ヶ島水道 2月 2日 0200
 神戸港 2月 2日 0315到着予定

海 図 W 6 1 B - W 7 0 - W 9 3 - W 7 7

出 所 四日市海上保安部

「四管区水路通報」に関する問い合わせ先

第四管区海上保安本部 水路部 監理課 図誌係

〒455-8528 名古屋市港区入船 2 - 3 - 1 2

名古屋港湾合同庁舎 (6 階)

TEL 052-6614611 (内線315)

FAX 052654-2536 (FAX サービス兼用)

E-mail zushi4@cue.jhd.go.jp

第四管区海上保安本部水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN4/index.htm>

海上保安庁水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

また、FAX によるポーリングサービスも行っています。

FAX 番号は『052-654-2536』です。

なお、ID コードやパスワードは設定していません。

(ポーリング受信のモードで、上記番号にアクセスします。機種によってはパスワードの入力を求められますが、その際は適当な4桁の数を入力します。)

日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」(平成13年6月20日公布)の施行により経緯度の基準が4月1日以降、世界標準である世界測地系に変更されます。

海上保安庁では、海事関係者等皆様の便宜を図るため、経緯度数値を世界測地系に変換するコンピュータプログラムをインターネット上で公開しました。

変換プログラムは、海域について日本測地系と世界測地系(WGS84)の経緯度数値を相互に変換できるようになっておりますので、海域で経緯度数値を利用している方々で現在の経緯度数値を世界測地系に基づく経緯度数値に変更する場合などに本プログラムをご利用下さい。

インターネットアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

1 平成14年3月までは・・・

- ・我が国の海図のうち、日本及びその周辺海域の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成12年4月からは世界測地系で刊行しており、平成14年3月末までに、全て世界測地系海図へ移行されます。
- ・日本測地系海図によるものと世界測地系海図による海図が混在しますので、使用に際しては海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を一致させるなど十分注意されるようお願いいたします。
- ・従来の日本測地系海図は、平成13年10月から段階的に廃版され、平成14年3月末までに全て廃版となります。
- ・水路通報及び航行警報の位置表示は、日本及びその周辺海域については原則として日本測地系と世界測地系を併記することとしています。ただし、入手情報のうち測地系が明らかでない場合、また緊急に知らせる必要がある漂流物等については、「測地系不明」として提供する場合があります。

2 平成14年4月以降は・・・

- ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は、全て使えなくなります。
- ・水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

このため、

下図の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、同14年3月改版予定)を参照のうえ、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、別途毎週の水路通報などでお知らせすることとしています。

廃版予定海域及び時期

時期 平成13年10月～11月

東京湾
伊勢湾及び付近
大阪湾及び紀伊水道
瀬戸内海
本州南岸
四国南岸

時期 平成13年11月～14年3月

九州沿岸
本州北西岸

時期 平成13年12月～14年3月

北海道沿岸

時期 平成14年1月～2月

本州東岸

時期 平成14年1月～3月

南方・南西諸島

(注) 以上の他、番号5000台の海図及び一部の海図の中には廃版されていないものもありますので、詳細は水路図誌目録を参照して下さい。

